

■工房利用内訳モデル

日数内訳		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
日	数 a	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
休	館 日 b	4	2	2	2	2	2	2	4	7	7	4	5	43	3.6
開	館 日 数 c=a-b	26	29	28	29	29	28	29	26	24	24	24	26	322	26.8
貸 出 休 止 日	貸 出 休 止 日 d=e+f+g+h+i	6	9	8	9	9	8	9	7	7	7	6	6	91	7.6
	一 般 講 習 会 e	1	3	2	3	4	2	3	2	2	3	2	2	29	2.4
	講 習 会 準 備 日 f	1	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	2	19	1.6
	木 工 自 由 制 作 相 談 室 (大型製材機技術習得講習会) g	3	3	2	3	2	3	3	2	2	2	2	2	29	2.4
	大 型 製 材 機 安 全 点 検 講 習 会 h	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	11	0.9
	保 守 点 検 等 i	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3	0.3
貸	工 房 k=c-d	20	20	20	20	20	20	20	19	17	17	18	20	231	19.3

考え方

- ・ 貸工房日数は、概ね月20日程度
但し、11月は消防設備点検により19日、12月と1月は年末年始休暇により17日、2月は月日数が少ないため18日とする。
以上日数には、施設の突発的な工事や対応等は含まない。
- ・ 大型製材機安全点検講習会を毎月1日分確保
(1回あたり2-3人受講×12か月で大型製材機使用できる人全員分の定員数確保)
- ・ 木工自由制作相談室の中に大型製材機技術習得講習会を含む
- ・ 講習会日数はGW、夏冬は子ども向けに多く開催できるように確保
- ・ 講習会準備日を毎月1~2日確保

※上記のモデルは、今後の運用案として意見交換会にて提案させていただきました。